



総合図書館

冬の時代に向けて

関西大学
教養部部長代理
(商学部教授)

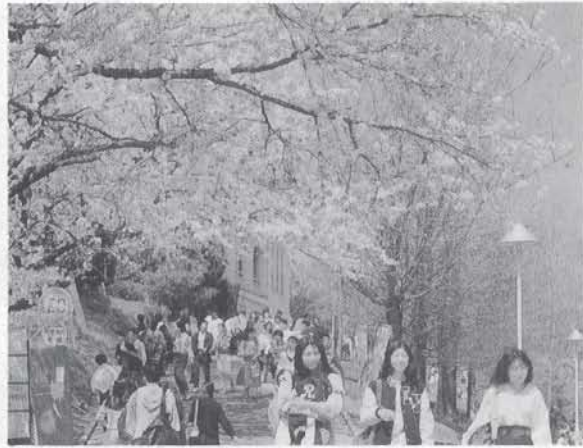
井上昭一

関西大学も他大学と同様に、「冬の時代に向けて」いくつかの懸案や課題と取り組んでいるが、本稿では、次の二点に絞って紹介してみよう。

第2部（夜間部）の移転

明治十九年（一八八六年）に夜間の関西法律学校として発足した関西大学は、この伝統を大切にしながら、これからの第2部教育のあり方について、教育の機会均等の理念に基づき社会人を含めた生涯教育機関として、夜間学びたい人があれば、これを広く受け入れていく姿勢で臨むことを全学的に確認してきた。つまり第2部を縮小するというのではなくて、むしろこれをどのように発展させていったらよいかを常に視座におき検討を加えてきたのである。その結果、現在第2部が専用している天六学舎は狭隘であり、これ以上の発展を期し難いと判断して、平成六年（一九九四年）四月に第1部が設置されている千里山キャンパスへ全面移転するという結論を出した。

千里山学舎では我が国有数の規模と機能を誇る総合図書館や情報処理センターも完備しているうえ、現在第2部の学生を迎えるために第二体育館（仮称）（スペース的にも機能的にも多目的に使用可能）や第二学生会館（仮称）（各クラブ部室、大小の音楽教室、学友会活動のための会議室なども含む）、集中的・重点的に講義が行われる学舎（OAFロア、AV・PC教育、CAL教室などインテリジェント化に加えゆつくり空間にも配慮）を建設中であるが、これに加えてさらに福利



春のキャンパス風景

厚生施設等を整理している。

ハード面だけでなく、ソフト面でも平成三年七月一日、大学設置基準の大綱化が打ち出されて、各大学がユニークな特性を出せるかなり自由な、あるいは大幅にカリキュラムを改善できるチャンスが生まれたことから各学部（六学部）で鋭意検討中である。その成果の一部として入試の多様化、生涯教育の一環として社会人の受入れを実施している学部もある。現在全学部で一定の枠を設けて実施中の「資格」に関する第1部・第2部授業の相互履修を「専門科目」にまで拡大する案も早

期実現に向けて調整中である。中・長期の将来展望としては学部間の垣根を低くして、より学際的なカリキュラムを組むと同時に、産業界や法曹界から多彩な講師陣を招く構想を実現したいと考えている。

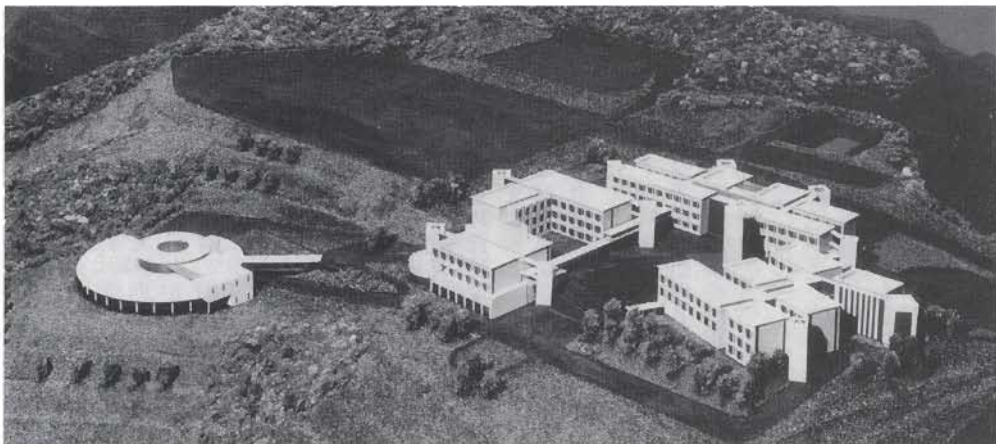
総合情報学部の開設

本学では第七番目の学部として、平成六年四月に千里山キャンパスから距離的にそれほど遠くない高槻市に総合情報学部を開設する。初年度入学定員は四百人、二年目以降は百人の編入学生を受け入れるために完成年度には千九百人の規模になる。

本学部の基本理念は「情報」と「情報に関する諸問題」を究明するため、広義の学際的な「情報学」の確立を目指し、諸科学横断的かつ総合的な視点から教育研究を行う我が国初の文理総合型の新しいタイプの学部作りにある。

従来の情報関連の学部・学科では情報工学や情報科学に主眼をおいたものか、経営情報学といったものが大半で、広義の学際的な情報学そのものを教育研究する学部は殆どなかった。しかし、今日の学問の世界は「分化」から「統合」へ向かっており、その中で諸科学を、情報を媒体にしながら横断的につなぐ新しい学部が求められてきた。

このような要請に応えるために、長年の構想を総合情報学部という形で結実させたが、



総合情報学部学舎棟等完成模型図

大学冬の時代に向けて

広島修道大学総合企画課 加利川 友子

二十一世紀委員会構想発足

一九九二年一月、本学はより個人的な大学を創り、「大学淘汰の時代」を勝ち残るための構想母体として、「広島修道大学二十一世紀委員会」（香川学長：当時）を組織した。そしてこの中で本学の課題を学長私案、「二十一世紀の広島修道大学」として発表した。構成は学長、学部長（三名）、学長補佐員（三名）、事務局長、事務局次長の九名。展望、課題は必要によりワーキングコミッティーを置き検討を進め、大綱を理事会に提案するというものだった。事務担当は企画広報課。

- 本学では情報学は情報科学とコミュニケーション学とコンピュータ科学と定義づけられている。新学部の特徴として、次の諸点が挙げられる。
- ①セメスター制の導入。
 - ②大学設置基準の大綱化に伴っても、一般教育科目（基礎科目と称し、原則的に先修科目指定）を重視すること。
 - ③専攻学科制をとる訳ではないが、学生が

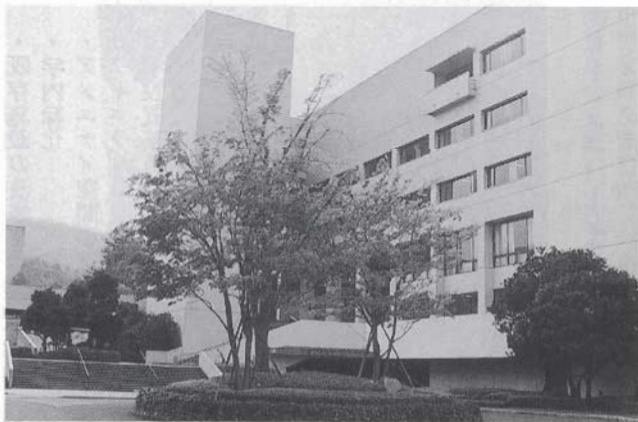
- 将来どういう方面に進むかという点を配慮して三つの履修メニュー（情報科学系の学生に適した知識情報、政策科学や経営情報学を学びたい学生用の組織情報、テレビやマスコミ、ニューメディアに関連したメディア情報）を設置したこと。
- ④語学教育の重視。既存の六学部では第一外国語を英語（必修）とし、第二外国語

- として独・仏・露・中・スペイン語の五科目（どれか一つを選択必修）、計六科目で構成されているが、新学部ではここに朝鮮語を加えて七科目にしたことに加え、学生は主選択（十二単位）と副選択（四単位）という形で、何を履修しても自由である。
- ⑤少人数教育の徹底。演習や実習など。

■目標、課題の設定
「広島修道大学二十一世紀委員会」はまた、本学の抱える問題点として、①大学の基本目標・長期戦略の確立、②私学としての特色の明確化、③管理・運営における統括機能の明確化、④意思決定機関の権限の明確化、⑤教職員間でのコスト認識の問題等を指摘し、それを踏まえて今後の目標、課題を設定していた。

「第一回中間報告書」作成

一九九二年度の「二十一世紀委員会」（藤田学長）は、基本的には前年度の目標課題設



けやき 本館前、ロータリーに植えられているもので、本学のシンボルツリーとして愛されてきた